

2026 年 1 月 19 日

株式会社ロイヤリティ マーケティング

美幌町とロイヤリティ マーケティングが包括連携協定を締結

北海道網走郡美幌町（町長：平野 浩司）と共通ポイントサービス「Ponta（ポンタ）」を運営する株式会社ロイヤリティ マーケティング（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：勝 文彦、以下「LM」）は、2026 年 1 月 19 日、包括連携協定を締結します。LM が自治体と包括連携協定を締結するのはこれが初めてとなります。

美幌町と LM は、2021 年に同町内に創設した「Ponta の森」植樹を通じて、持続可能な森づくりを協働して進めてきました。また、LM が提供する SDGs アプリ「Green Ponta Action」を通じて、ユーザーがアプリ上で行ったアクションに応じた金額を Ponta の森づくりに寄付しています。

このたび締結する包括連携協定の取り組みとして、連携の 3 つの柱を中心に、Ponta の森を通じた脱炭素の取り組み、地域住民をはじめとする生活者・企業・教育機関との連携による参加型の森づくりを推進します。また、1 億超の会員基盤を有する Ponta データを活用し、美幌町の経済活性化や産業振興に取り組んでまいります。

美幌町と LM は、今後も協力し、官民協働で新たな地域価値を生み出す「モデルケースの創出」に取り組んでまいります。

【連携の 3 つの柱】

①Ponta の森を通じた植樹活動の継続・発展

- ・令和 3 年度（2021 年度）から実施している「Ponta の森」植樹活動を基盤に、環境保全と地域交流を一体的に推進。
- ・地域住民・企業・教育機関が参画する「参加型の森づくり」を展開し、環境意識の醸成と次世代への継承を図る。

②データ活用による地域振興

- ・1 億超の Ponta 会員の購買データや価値観データ、データ分析などの知見を活かし、脱炭素・観光・商業など他分野における地域課題の可視化と施策立案を支援。
- ・データに基づく効果的な情報発信や住民行動促進を通じて、持続可能な地域づくりを推進。

③地域をフィールドとした実証事業の推進

- ・美幌町を舞台に、企業・大学・NPO 等と連携した新たな官民共創プロジェクトを展開。
- ・脱炭素、観光、デジタル、教育など多様なテーマで実証的な取組を進め、全国へ発信可能な地域共創モデルを確立。

【包括連携協定の概要】

- (1) 脱炭素の取り組み推進に関すること
- (2) 産業振興・中小企業支援に関すること
- (3) 教育・文化・スポーツに関すること
- (4) 子育て・健康・医療に関すること
- (5) 地域・暮らしの安全・安心に関すること
- (6) 防災・災害対策に関すること
- (7) その他、双方が必要と認めたこと

■ご参考：これまでの美幌町と LM の取り組みについて

<Ponta の森>

2021 年 10 月、北海道美幌町に「Ponta の森」が誕生しました。以降、従業員が参加する植樹ツアーを毎年実施しています。参加者は植樹の他、美幌博物館の協力を得て、学芸員による多様性のある森づくりや、森と川、海の循環に関するレクチャー受講、駒生川のサケの産卵場づくりなど、森や水の豊かさに触れる体験を通じて、環境問題について理解を深めています。



<MODRINAE（戻り苗）>

生活者の方にどんぐりが苗木になるまで約 2 年間育てていただき、育った苗を山に植樹する体験型プロダクトです。LM は同プロダクトを提供する株式会社ソマノベースと協働し、2024 年・2025 年、Ponta ユーザー向けに同プロダクトを販売しました。初回販売分の苗木は、2026 年秋ごろに、Ponta の森に植樹される予定です。

■ご参考：LM のサステナビリティ活動について

LM は、企業理念「無駄のない消費社会の構築に貢献する」の実現に向けて、サステナビリティ活動に取り組んでいます。2024 年度には、事業を通じた社会課題の解決の注力テーマとして、「データを活用した企業活動の無駄の削減」「パートナーシップによる環境負荷削減への貢献」、そして「人と社会のウェルビーイングの実現」を策定し、コーポレートサイトに掲出しています。

<https://www.loyalty.co.jp/sustainability>

以上